

岐阜食肉市場 飛騨牛共進会



最優秀賞に輝いた早川牧場の早川隆則さん(右)と、
競り落とした中部ミートの山口貴久社長(左)

早川牧場が最優秀

清桜号、肉質を高評価

岐阜食肉市場飛騨牛共進会が、岐阜市境川の市食肉地方卸売市場であり、中津川市の早川牧場が出品した「清桜」号が最優秀賞に選ばれた。

飛騨牛の品質を高め、より安全でおいしい牛肉を消費者に届けようと、県畜産公社が毎年開いている。市場に出荷する肥育農家が、県内で14カ月以上肥育した

和牛102頭(雌37頭、去勢65頭)の枝肉を出品、県畜産研究所の松野弘所長ら4人が審査した。

清桜号は、父が「花福桜」、母の父が「白清85の3」。

枝肉重量は529キで、格付け等級は最上のA5。「肉色や肉質のきめ細かさなど、飛騨牛の特徴を兼ね備えた大変素晴らしい枝肉」と高評価を得た。共進会後

に行われた競りでの牛枝肉の最高価格は、清桜号の1キ当たり8640円で、バローグループ中部ミート(大垣市)が競り落とした。(山田雄大)

その他の主な入賞者は次の皆さん。

▽優秀賞1席 青木ファーム(中津川市)▽同2席 郡上せらぎ牧場(郡上市)▽優良賞1席 竹内畜産(中津川市)▽同2席 丹羽秀平(同)▽同3席 一柳実(海津市)